

# こんなところに防災製品

(公財)日本防災協会 広報室

## 「静岡市民が選んだ逸品」に 防災頭巾 ～市民が「100年先まで大切に 残していきたい」として選 んだ防災製品～

平成29年冬、静岡市が開催し市民が選ぶ静岡市逸品「しずおか葵プレミアムAWARD2017」において防災認定を受けた防災頭巾が選ばれたとの情報が入り、この事業を推進している静岡市経済局商工部産業振興課の寺田主任主事と、この逸品を製作した地元のファシル(株)の八木代表取締役にお話を聞きましたのでお知らせします。

この「しずおか葵プレミアムAWARD2017」は、市民の投票で選ばれた商品を静岡市の地域ブランドとして静岡市が認証し、PRや販促等のサポートをする事業です。市内の事業者から応募のあった31品のうち専門家による1次審査を通過した15品について、約2ヶ月半かけて市民投票を呼びかけたところ、約19,500票の投票を得て、その中で得票数の多かった7品が「しずおか葵プレミアムAWARD2017」認証品として決定されました。認証品は、市民にとってなじみのある銘菓・お茶に関連する商品や漆工芸品など、永く市民に親しまれてきた、自

信を以って全国の皆さんに発信できる品々です。平成30年度は、これらの認証品を積極的にPRするとのことでした。



市民が選んだ防災頭巾



市民投票を呼びかけるチラシ

市民が「100年先まで大切に残していきたい」として選んだ防災頭巾は、35年以上にわたり静岡市内の小中学校に採用されており市民の誰もが知るなじみの品

です。八木代表取締役は、「普段はカバーに入れて椅子の座布団として使われている。親しまれている一つの例として、一つの防災頭巾を小学校だけでなく、手直ししながら中学高校でも使い続け、中には東京の大学に進学する折にも持参する人がいると聞いている。丈夫で長持ちし、子供だけでなく広く地元市民にとって安全安心の必需品となっている」と自信を以ってエピソードを話され、このエピソードを聞き、静岡市の逸品に選ばれる理由の一端を知ることができました。また、「防災頭巾を学校に納めるにあた

り、以前に比べて防災の認定を受けた防災ラベル付き指定する学校が増えてきており、防災の認知が広がっている。近年では、県外の大きな地震被害に遭われた地域への支援品として防災ラベルの付いた防災頭巾が選ばれている」と話されていました。

この度市民が選んだ防災頭巾は、東海地震の発生が危惧され、大被害が予想される当地にあって、永年に渡り市民の安全安心グッズの一つとして広く認識されていることの証と言っても過言ではないでしょう。

